



2026 年もよろしくお願ひします。

3学期スタート！！



本年も、鳥之郷小学校の子どもたちが自身の持てる力を存分に発揮し、大きく成長できますよう、全職員で力を合わせて教育活動を進めて参ります。本校の教育活動に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

例年、『あつという間に過ぎてしまう』3学期を大切に過ごそう、と子どもたちに話しています。昔から、1月は『行く』、2月は『逃げる』、3月は『去る』といわれます。実際、3学期は登校する日数が一番少ないのですが、期間の短さを感じるのは、日数の少なさだけではありません。1年間のまとめをして、次の学年や中学校に進む準備をする学期です。心の中に『新しい年に頑張りたい。次の学年・学校へ向け新しい自分になりたい』という思いがあふれているからこそ、充実した『あつという間に過ぎゆく』期間なのです。

2026 年は午年(うまどし)、さらに今年は、60 年に一度の 丙午(ひのえうま) の年です。午年はもともと「太陽が最も高く昇る正午」を象徴し、勢い・情熱・前進力といったエネルギーが強まる年とされています。なかでも、丙午は「火の陽気さ × 午の勢い」が重なるため、情熱が燃え上がるような非常にパワフルな年とも言われています。挑戦や飛躍に向いている一方、勢いが強すぎる面もあるため、冷静さとバランスを意識することが大切になる、という話もあります。とにもかくにも、エネルギーをもった子どもたちにとっては飛躍の年であることには違いありません。

丙午(ひのえうま)が 60 年に 1 度の理由

丙午は 十干(じっかん) と 十二支(じゅうにし) を組み合わせた「六十干支(ろくじっかんし)」の中のひとつです。

- 十干は 10 種類(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)(10 個が順番に繰り返し)
 - 十二支は 12 種類(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)(12 個が順番に繰り返し)
- この二つが同時に進み、その組み合わせが60通りあるため、丙午は 60 年に一度めぐってくるのです。前回の丙午は 1966 年、今年を過ぎて、次回の丙午は2086年です。



春に向けて、卒業式や令和8年度入学式などの準備も始まります。

来年度の新1年生は、平成31年、令和元年、令和2年生まれがそろったメモリアルな1年生です。元号が変わってはや8年目になるのですね。今年も国内外の情勢については、予測が難しい様相ですが、子どもたちにとって、幸せな1年となってくれたらと願ってやみません。また、身近な生活は、一見単調な繰り返しのように感じる日々ですが、学校で経験することに、昨年と全く同じことは一つもありません。そのことを子どもたちとともに、感じて生活したいと思います。

様々なことに関心を寄せ、疑問をもち、調べたり体験したりしながら学ぶ子どもたち。彼らにとってこの1年が、『思いをもって挑戦し、成功も失敗も合わせて冷静に、客観的に振り返り、新たな自分を生み出す年』となるよう、皆様の温かい励ましを、どうぞよろしくお願いいたします。